

竹の山小学校区

	まちづくりの取り組みアイデア			その他
	市民	協働	行政	
道路			行政 抜け道を 通ったことなる 工夫 スクランブル 交差点に 通学時間帯 のみ スクランブル 道のつり方 を変える (スピードが 出しにくい形に)	あつまる場の へばりつき 規制が つよい
公共交通		<ul style="list-style-type: none"> ●くるりんばすの利用向上 ●くるりんばすの再編、市役所中心の再開発、道の駅構想をリンクさせ機能的に運行できるようにする(セントラルパーク構想) ●駐車場は既存スペースの活用で工夫 ●既存施設の活用でコストダウン 	住民視点からの 交通対策	自転車に 配りよした 道づくり
安全・安心		<ul style="list-style-type: none"> ●地域防犯対策 ●交番を増やす 	ガスタック を 活用	ガスタック 活用!
土地利用		<ul style="list-style-type: none"> ●空家対策 ●学生参加してもらう ●シェアハウスで暮らす(外国人、母子家庭) ●地域活動に参加 ●災害時の避難場所として改修 	まちの中心として	
暮らしやすさ		景観を創る	地域の核 として 学校を活用 (開放)	親子の居場所+文化 竹小・北中 の固のスペース をもと活用
景観 (歴史・文化)		新しいまちの 景観を みんなで作る	学校	
公園	<ul style="list-style-type: none"> ●清掃活動 ●各地域の自治会、住民の清掃活動とリンクさせ、補助する形で改善・実施、五色園では実施 ●緑に係る活動グループの活用 ●緑に関わる市民団体、地域自治会の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ●花いっぱい、小学校と連携 ●小学校のあさがお栽培との学習を活用し、プランター栽培による緑化を一般家庭で実施 ●公共施設や道路にプランターを設置 ●市民と行政(=市民でもある)の協働 	<ul style="list-style-type: none"> ●活動グループの助成や補助の数値しくみづくり ●市で助成・補助のしくみづくりが必要 ●公園のテーマパーク ●緑と水のテーマパーク(井天池にポートができるように) 	
緑・水	<ul style="list-style-type: none"> ●「自分ごと」という意識 ●落ち葉は他人事ではない→自治会で清掃一維持 ●学校や子供の参加の推進 ●子どもが多い ●子どもが参加できるといい ●プレーパークや木を使った遊び ●プレーパークを地域の人の手で ●大きな木を1本寝かせておいておくと、子どもは勝手にあそぶ ●木のぼりOKの木をつくる ●アスレチックのように木で遊べる遊具 ●ストリートピアノで楽しく 	<ul style="list-style-type: none"> ●農とのかかわり ●学校で楽しめるように ●田植え休み ●田んぼの貸し出し(市民田んぼ) ●活動団体の更新(仕組みづくり) ●食につなげる ●食につなげる ●焼きイモまつりをする(公園・広場で) ●くり・かき・びわの木を植える。誰が食べてもOK ●アサガオ・ヘチマ・ゴーヤプランター 	<ul style="list-style-type: none"> ●活動の支援 ●農家の価格保障(農業で生活ができる保障を!) ●草かりをした後の草を回収してくれる場が欲しい(無料で) ●草を1袋10円で買いとってくれる等のシステムづくり ●開発と緑 ●開発するときはそれにかわる森・田をつくる計画をもつ ●緑は誰が守るのか、これ以上の開発が必要なのか 	